

中学社会科歴史の授業シラバス

教科	科目名等	学年	履修形態	実授業数	教科書	副教材など
社会	歴史	1年 ST	必修	56	社会科「中学生の歴史」 帝国書院	

* 全クラス共通で実施

年間学習目標	歴史を学ぶ上での基礎・基本的に必要な知識を養う。 歴史的な見方・考え方を働かせ、日本と世界の古代・中世史の学習を通して、歴史的課題を考察する。広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者に必要な市民的資質・能力の基礎を培う。
--------	--

2 授業進度

	1 学期	2 学期	3 学期
学習内容	① 人類の登場から文明の発生へ（人類の誕生～古代文明） ② 東アジアの中の倭（縄文時代～古墳時代）	① 中国にならった国家づくり（大和王権～奈良時代） ② 展開する天皇・貴族の政治（平安時代） ③ 武士の世の始まり（鎌倉時代）	① 武家政権の内と外（鎌倉時代末～南北朝時代） ② 人々の結びつきが強まる社会（室町時代）
備考			

* なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評価対象・方法	知識・技能	小单元ごとの「小テスト」、宿題テスト等 定期考査（配点の約 50%）	評価基準	知識・技能	学期 A+A B C C- 学年 A B C 5段階 3段階	総合評価・評定の算出	・観点別評価を基に、各学期 10 段階で総合評価 ・各学期評価に基づいて年度末 5 段階評定 ・観点別の配分比率は次の通り 知識等：思考等：主体的態度 = 4：4：2
	思考・判断・表現	定期考査（配点の約 50%） パフォーマンス評価（課題レポート、話し合いの記録、発表会）		思考・判断・表現	学期 A+A B C C- 学年 A B C 5段階 3段階		
	主体的学習態度	パフォーマンス評価（課題レポート、発表会の評価、ノート：内容＆中長期的変容）		主体的学習態度	学期 A B C 学年 A B C 3段階 3段階		

* 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。